

### 3 沿革

#### 岡山県児島郡興除村立興除実業学校

- 大正 6. 4. 27 岡山県児島郡興除実業学校設置認可（修業年限2年、定員160名、男子部・女子部設置）  
6. 6. 1 乙種の農学校として岡山県児島郡興除実業学校開校式挙行（興除村中疇興除尋常高等小学校地内に校舎新築、実習地確保）  
7. 4. 1 研究科設置（修業年限1年）  
13. 4. 29 研究科廃止、修業年限3年に変更、定員250名

#### 岡山県興除農学校

- 昭和 4. 4. 1 岡山県興除農学校と改称、定員250名  
6. 4. 1 専攻科設置、修業年限2年  
10. 5. 1 専攻科廃止、研究科設置、修業年限3年

#### 岡山県興除実業学校

- 昭和11. 4. 1 岡山県興除実業学校と改称

#### 岡山県興除農学校

- 昭和19. 4. 1 岡山県興除農学校と改称、甲種農学校に昇格（研究科廃止、修業年限4年、男子部定員400名・女子部定員200名）  
21. 5. 1 県営移管、定員700名（修業年限：男子部5年・女子部4年）  
21. 5. 1 学校移転建築第1期工事地鎮祭挙行（児島湾干拓施工者藤田興業株式会社及び干拓による補償を受ける倉敷市外19か町村と折衝、六区干拓地30町歩を校地として使用することが了解された。）  
22. 4. 1 新制中学校併設  
22. 9. 1 男子部新校地（児島郡藤田村都地先六区）に移転  
22.12. 9 天皇陛下行幸

#### 岡山県立児島農業高等学校

- 昭和23. 4. 1 岡山県立児島農業高等学校と改称、農業科・家庭科設置  
岡山県児島郡藤田村外5か町村高等学校組合を設立して定時制高等学校併設（農業科・家庭科設置、修業年限4年、定員400名）  
23. 4. 1 家庭科新校地に移転（全校移転完了）  
24. 3. 31 併設中学校廃止

#### 岡山県立興陽高等学校

- 昭和24. 8. 31 岡山県立高等学校設置条例改正により岡山県立興陽高等学校と改称、農業科・家庭科設置  
24.12. 20 玉野市に演習林取得  
26. 5. 28 財団法人岡山県立興陽高等学校後援会の設立許可申請（藤田興業株式会社から干拓権譲渡を受けた町村がこれを学校用地として寄附）  
26. 9. 27 財団法人岡山県立興陽高等学校後援会設立許可受領  
26.11. 1 併設定時制課程を岡山県興陽都高等学校と改称  
27. 2. 1 創立35周年・移転5周年記念式挙行  
27. 4. 25 秩父宮妃殿下御来校  
27.11. 1 併設定時制課程の岡山県興陽都高等学校を岡山県立興陽高等学校と改称  
29. 3. 31 校友協力会の寄附で記念館「稔の家」完成  
29.11. 6 産業教育70周年記念校内事業（記念館前池内に中之島を築造）  
30. 4. 1 岡山県公示により藤田村に編入  
32. 4. 1 全日制定員170名（農業科120名・家庭科50名）、定時制定員150名（農業科50名・家庭科100名）  
33. 3. 29 住所が岡山県児島郡藤田村1500番地となる。  
35.12. 8 創立45周年記念式典挙行  
37. 3. 31 定時制高等学校組合立岡山県立興陽高等学校を岡山県立興陽高等学校に統合することに伴い、施設・設備を岡山県に寄附  
37. 4. 1 組合立岡山県立興陽高等学校を岡山県立興陽高等学校に統合、農業機械科・造園科・被服科新設、生徒定員180名（農業科80名・農業機械科40名・造園科40名・家庭科100名・被服科50名）  
38. 4. 1 家庭科を家政科に改称、生徒定員400名（農業科90名・農業機械科45名・造園科45名・家政科165名・被服科55名）  
40. 3. 31 2号館第1期工事（特別教室・普通教室）完成  
41. 4. 1 生徒定員360名（農業科80名・農業機械科40名・造園科40名・家政科150名・被服科50名）  
41. 9. 30 2号館第2期工事（普通教室）完成  
42. 4. 1 生徒定員350名（農業科80名・農業機械科40名・造園科40名・家政科140名・被服科50名）  
42.10. 5 創立50周年記念式典挙行  
43. 4. 1 生徒定員340名（農業科80名・農業機械科40名・造園科40名・家政科135名・被服科45名）

- 昭和45. 9. 2 造園和風見本庭園完成
46. 3. 31 2号館第3期工事（普通教室）完成
46. 4. 1 生徒定員340名（農業科80名・農業機械科40名・造園科40名・家政科90名・被服科90名）
47. 3. 1 農業機械実習室・機械工作実習室完成
47. 4. 1 生徒定員320名（農業科60名・農業機械科40名・造園科40名・家政科90名・被服科90名）
49. 3. 30 3号館第1期工事（調理実習室・被服整理実習室・和裁手芸実習室）完成
50. 5. 1 児島郡藤田村が岡山市に合併（学校住所が岡山市藤田1500番地となる。）
50. 5. 20 1号館（管理棟）第1期工事完成
51. 6. 21 1号館（管理棟）第2期工事完成
51. 12. 16 格技場完成
52. 10. 7 創立60周年記念式典挙行
54. 2. 9 3号館第2期工事（家庭科普通教室）完成
55. 6. 30 熱帯植物温室完成
56. 3. 10 6号館第1期工事（農業実習室）完成
56. 4. 1 生徒定員300名（農業科40名・農業機械科40名・造園科40名・家政科90名・被服科90名）
57. 4. 1 生徒定員280名（農業科40名・農業機械科30名・造園科30名・家政科90名・被服科90名）
58. 4. 1 生徒定員340名（農業科40名・農業機械科80名・造園科40名・家政科90名・被服科90名）
59. 4. 1 生徒定員385名（農業科40名・農業機械科80名・造園科40名・家政科90名・被服科135名）
59. 4. 1 岡山県立高等学校経営特別会計条例に基づき特別会計開設に伴い、財団法人岡山県立興陽高等学校後援会から建物33棟（2,953.96㎡）を岡山県に寄附
59. 7. 11 4号館（普通教室・特別教室）完成
60. 1. 22 作物実習室（ライスセンター）完成
60. 4. 1 生徒定員390名（農業科40名・農業機械科80名・造園科40名・家政科90名・被服科140名）
60. 12. 16 財団法人岡山県立興陽高等学校後援会解散・残余財産処分許可申請
61. 1. 17 財団法人岡山県立興陽高等学校後援会解散許可
61. 3. 17 5号館第1期工事（家庭科特別教室）完成
61. 4. 1 生徒定員395名（農業科40名・農業機械科80名・造園科40名・家政科95名・被服科140名）
61. 4. 1 財団法人岡山県立興陽高等学校後援会解散に伴い、後援会基本財産（土地313,545.52㎡・山林22,458㎡・生徒研修施設404.70㎡）を岡山県立興陽高等学校・実習林・岡山県農業機械教育センター用地として岡山県に寄附
61. 4. 30 校地12,053㎡を岡山県農業機械教育センター用地として所管替
62. 3. 25 5号館第2期工事（家庭科特別教室）完成
62. 4. 1 生徒定員439名（農業科41名・農業機械科82名・造園科41名・家政科135名・被服科140名）
62. 10. 6 創立70周年記念式典挙行
62. 12. 4 創立70周年記念事業として生徒研修施設を新築し岡山県に寄附
63. 7. 18 6号館第2期工事（農業実習室）完成
- 平成 2. 1. 10 園芸実習室完成
2. 4. 1 生徒定員390名（農業科40名・農業機械科80名・造園科40名・家政科90名・被服科140名）
3. 3. 10 体育館完成
3. 4. 1 生徒定員340名（農業科40名・農業機械科80名・造園科40名・家政科90名・被服科90名）
4. 4. 1 生徒定員330名（農業科40名・農業機械科80名・造園科40名・家政科85名・被服科85名）
5. 3. 31 農業機械実習室完成
5. 4. 1 造園科を造園デザイン科、被服科を被服デザイン科に学科改編  
生徒定員320名（農業科40名・農業機械科80名・造園デザイン科40名・家政科80名・被服デザイン科80名）
7. 3. 13 順化温室完成
7. 4. 1 生徒定員280名（農業科40名・農業機械科40名・造園デザイン科40名・家政科80名・被服デザイン科80名）
8. 6. 30 くじらの庭完成
9. 10. 5 創立80周年記念式典挙行
9. 10. 22 創立80周年記念事業として興陽館（生徒ホール・購買）を新築し岡山県に寄附
10. 8. 31 7号館工事（農業実習教室）完成
12. 3. 26 第18回全国高等学校弓道選抜大会女子団体優勝
13. 4. 1 生徒定員240名（農業科40名・農業機械科40名・造園デザイン科40名・家政科80名・被服デザイン科40名）
14. 3. 25 造園実習室完成
14. 10. 31 第53回日本学校農業クラブ連盟全国大会の意見発表Bで最優秀賞受賞
16. 4. 11 台湾台中高級農業職業学校と姉妹校提携締結
17. 3. 18 計画造園実習室完成
17. 4. 1 岡山県農業機械教育センター閉所に伴い、土地（12,041㎡）・建物（837.73㎡）を本校に所管替
17. 4. 1 生徒定員200名（農業科40名・農業機械科40名・造園デザイン科40名・家政科40名・被服デザイン科40名）
18. 10. 30 第22回時事通信社教育奨励賞優秀賞・文部科学大臣奨励賞受賞（スーパーエンパイロメントハイスクール研究開発事業「興陽菜の花エコプロジェクト」）

- 平成18.11.14 バリアフリー改修等工事・多目的トイレ完成
19. 4. 1 創立90周年記念事業として教室・興陽館にエアコン設置
19. 8. 6 平成19年度全国高等学校総合体育大会弓道男子個人優勝
- 19.10.19 創立90周年記念式典挙行
- 19.12. 5 平成19年度バリアフリー化推進功労者表彰内閣府特命担当大臣表彰優良賞受賞
21. 3.22 第27回全国高等学校弓道選抜大会男子団体優勝
- 21.10. 2 弓道場完成
- 21.10. 8 第60回日本学校農業クラブ連盟全国大会の農業鑑定競技会（造園の部）で最優秀賞受賞
- 22.10. 7 第61回日本学校農業クラブ連盟全国大会の農業鑑定競技会（造園の部）で最優秀賞受賞
- 22.10.16 第46回全国ファッションデザイン画コンテスト（高校生デザイン画の部）で文部科学大臣賞受賞
24. 4. 1 生徒定員240名（農業科40名・農業機械科40名・造園デザイン科40名・家政科80名・被服デザイン科40名）
25. 4. 1 生徒定員200名（農業科40名・農業機械科40名・造園デザイン科40名・家政科40名・被服デザイン科40名）
26. 1.23 2号館・武道場・農業機械実習室耐震工事完成
26. 8.21 畜産実験実習室完成
27. 1.29 3号館耐震工事完成
27. 3.26 農業機械実習室耐震工事完成
27. 7. 1 農業機械教育センター耐震工事完成
- 27.12. 1 管理棟耐震工事完成
- 27.12.17 キャリア教育優良学校として文部科学大臣表彰受賞
29. 2.13 2号館長寿命化工事完成
29. 4. 4 創立100周年記念事業として発祥の地記念碑の建立
29. 4.13 創立100周年記念事業として記念館改修工事及び校歌碑の設置・周辺整備完成
29. 5.11 創立100周年記念式典挙行
- 30.10.25 第69回日本学校農業クラブ連盟全国大会の農業鑑定競技会（農業の部）で最優秀賞受賞

（歴代校長）

初代	浦邊萬吉	大正 6. 6 ~ 大正 8. 1
第2代	山崎久次郎	大正 8. 1 ~ 昭和 5. 3
第3代	戸川直一	昭和 5. 4 ~ 昭和 8. 9
第4代	光畑春二	昭和 8. 9 ~ 昭和13. 9
第5代	片山茂雄	昭和13.10 ~ 昭和18. 1
第6代	石部修一	昭和18. 2 ~ 昭和20. 5
第7代	大野義男	昭和20. 6 ~ 昭和23. 4
第8代	金谷祖平次	昭和23. 5 ~ 昭和46. 3
第9代	高橋一二	昭和46. 4 ~ 昭和49. 3
第10代	中桐澤次郎	昭和49. 4 ~ 昭和52. 3
第11代	楠田清毅	昭和52. 4 ~ 昭和59. 3
第12代	山地昭	昭和59. 4 ~ 平成元. 3
第13代	廣川孝治	平成元. 4 ~ 平成 4. 3
第14代	猶原憲作	平成 4. 4 ~ 平成 6. 3
第15代	廣畑偉人	平成 6. 4 ~ 平成 9. 3
第16代	築谷健作	平成 9. 4 ~ 平成11. 3
第17代	砂口博志	平成11. 4 ~ 平成13. 3
第18代	前田梅児	平成13. 4 ~ 平成15. 3
第19代	田口昭二	平成15. 4 ~ 平成21. 3
第20代	中杉光廣	平成21. 4 ~ 平成26. 3
第21代	安東厚生	平成26. 4 ~ 平成29. 3
第22代	山村修	平成29. 4 ~

岡山県農業機械教育センター

- 昭和49. 3.19 岡山県農業機械教育センター設置決定
49. 8.12 設置場所を岡山市藤田1462-2（財団法人岡山県立興陽高等学校後援会所有地）に決定
51. 4. 1 岡山県農業機械教育センター開設準備事務局設置（岡山県立興陽高等学校内）
51. 7.10 岡山県農業機械教育センター条例に基づき開所（所長は岡山県立興陽高等学校長が兼務）
61. 4.30 財団法人岡山県立興陽高等学校後援会解散に伴い岡山県に寄附された岡山県農業機械教育センター用地を岡山県農業機械教育センターに所管替
- 61.11.22 創立10周年記念式典挙行
- 平成 8.11.29 創立20周年記念式典挙行
17. 3.31 岡山県農業機械教育センター設置条例廃止に伴い閉所
17. 4. 1 岡山県農業機械教育センター閉所に伴い、土地・建物を岡山県立興陽高等学校に所管替